

第4回 全国原子力発電所立地議会サミット

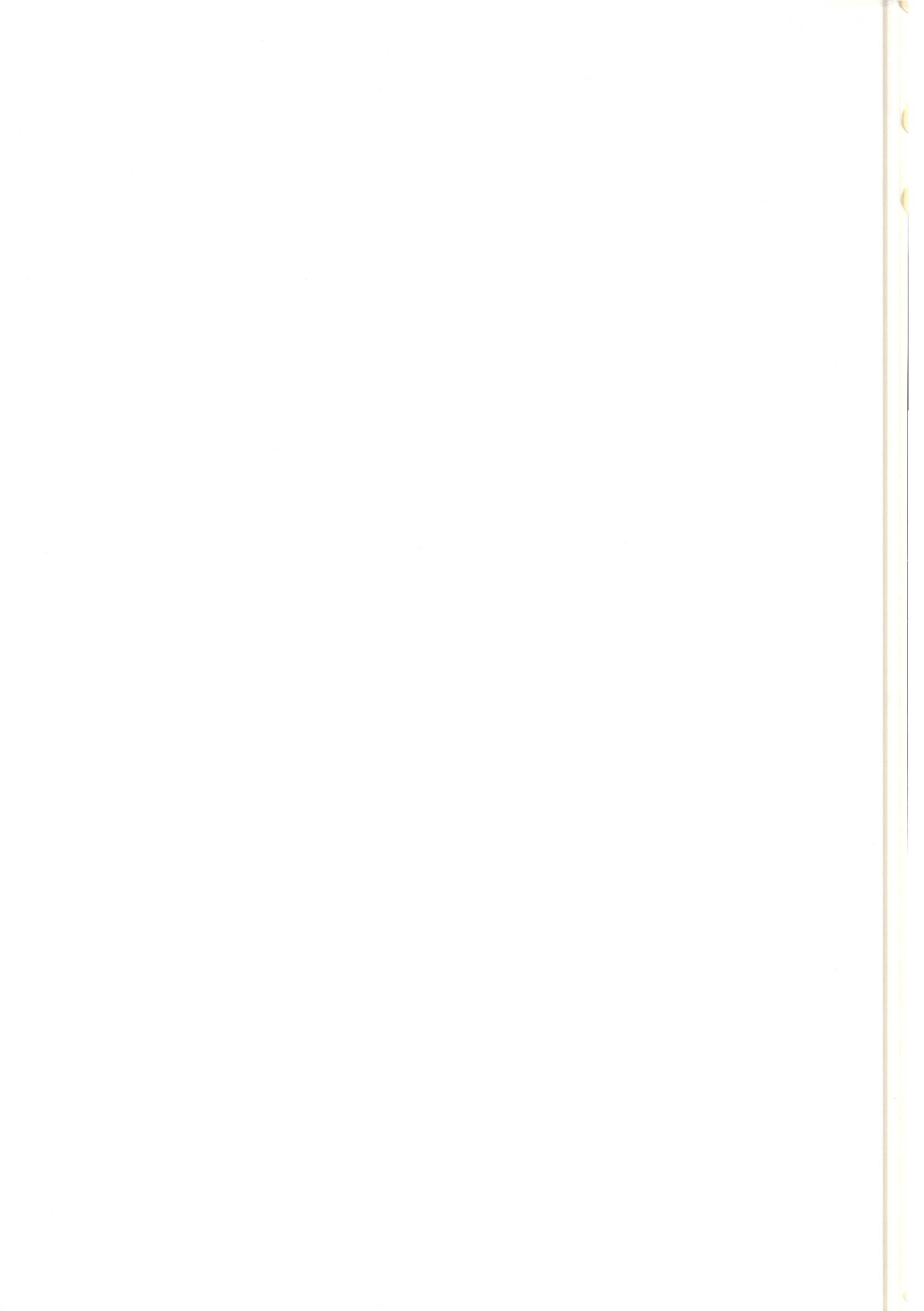
報 告 書



期日：平成15年11月25日(火)～26日(水)

会場：品川プリンスホテル エクゼクティブタワー

全国原子力発電所立地市町村議会議長会



第4回全国原子力発電所立地議会サミット

《プログラム》

第1日目 11月25日(火)

午前

12:00～ 受付

13:00～13:35

開会式

開会のあいさつ

実行委員長のあいさつ

来賓祝辞

東京都市区議会議長会会長

東久留米市議会 議長 甲斐次義様

全国原子力発電所所在市町村協議会会長

敦賀市長 河瀬一治様

関東商工会議所連合会会長

東京商工会議所会頭 山口信夫様

午

13:45～15:15

基調講演

「我が国における原子力発電の

役割と課題について」

(財)原子力安全研究協会 理事長 佐藤一男

後

15:30～17:30

分科会

第1分科会

第2分科会

第3分科会

第4分科会

第5分科会

18:15～20:00

交流懇親パーティ

第2日目 11月26日(水)

9:00～10:30

全体会

分科会報告

第1分科会

第2分科会

第3分科会

第4分科会

第5分科会

10:45～11:30

閉会式

大会宣言

来賓祝辞

経済産業大臣

文部科学大臣

次期開催地代表あいさつ

閉会のあいさつ

午

前

午後

第1回全国大学入学者選抜試験

(ムニロ)

第一日目 試験科目

国語

- 国語(総合)
- 国語(現代)
- 国語(古典)
- 国語(読解)
- 国語(漢文)
- 国語(作文)

英語

- 英語(総合)
- 英語(読解)
- 英語(文法)
- 英語(会話)
- 英語(作文)
- 英語(英訳)
- 英語(和訳)
- 英語(英和)
- 英語(和英)

第二日目 試験科目

数学

- 数学(総合)
- 数学(代数)
- 数学(幾何)
- 数学(算数)
- 数学(応用)
- 数学(物理)
- 数学(化学)
- 数学(生物)
- 数学(歴史)
- 数学(地理)

理科

- 物理
- 化学
- 生物
- 地学
- 天文学
- 環境学

社会

- 政治学
- 社会学
- 経済学
- 法学
- 文学
- 芸術

外国語

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 中国語
- 韓国語

開 会 式



開会のあいさつ



第4回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会

副実行委員長

東通村議会議員 島田 勝久

本日皆様、遠路はるばる、ここ品川の会場にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから第4回全国原子力発電所立地議会サミットの開会を宣言いたします。



主催者あいさつ

ごちのあひの会館



全国原子力発電所立地市町村議会議長会 会長

柏崎市議会議長 今井元紀

本日ここに、御多忙な中にもかかわらず、政府関係各位、政党を代表される各位、また各種団体から御出席をいただいた各位並びに本議長会加盟市町村の議員の皆様の御参加を得て、第4回原発立地市町村議会サミットを開催する運びになりましたことに、まず感謝を申し上げます。

参加者総数370人、うち自治体議員276人、参加立地自治体の数は23であることを御報告いたします。本会は平成9年4月に設立をし、2年に1度このような形でサミットの開催をいたし、本年第4回を迎えることとなりました。ことしは電力消費地を代表するお立場から関東商工会議所連合会様、また東京都市区議会の皆様からも御出席をいただいている旨、あわせてお知らせ申し上げます。

さて、我が国は依然、原子力発電に取り組んで四十数年が経過した今日、その過程は必ずしも平穏なものではありませんでした。私たち原子力発電所立地自治体は、そのただ中であって多くの問題に直面してまいりました。そのたびに住民を代表し、国や事業者、そして自治体の執行部との間に熱い議論をいたしてまいりました。しかし専門家でない我々自身は、原子力に関し十分な情報を持ち得ず、その結果、十分な議論ができない場面があったことは否めません。そのため情報を共有し、見聞を広めるために全国原子力発電所立地市町村議会議長会を組織し、研さんを積んでまいりました。

まことに残念なことは、国や事業者がひたすら安全である旨主張してきた原子力発電が、チェルノブイリ事故やスリーマイルアイランドなどでの事故、国内におけるJCO事故、そして国民の信頼を裏切る記録の改ざんや隠ぺい、虚偽報告などが、すべて人為的なものであったということでありました。私たちはこれまでのサミットにおいて、幾つかの主張をしてまいりました。しかし、これだけでは足りず、原子力防災、地域振興、原子力に関する幾つかの税制の問題、原子力規制機関のあり方、新しい論点である維持基準の問題、そして何よりも原子力の安全の確保について、大いに議論をしていただきたく思うわけであります。

今日原子力発電の占める位置を思うとき、そして国の産業発展の基幹的役割を思うとき、私たちは真剣に、本気でこのことを議論する義務すらあると思うのです。私たち議会議員の声はとりもなおさず住民の声そのものであります。そして、その住民の声は安心を願っての声であるということをごひとも御理解いただきたいことをお伝えして、簡単ですがごあいさつといたします。

実行委員長あいさつ



第4回全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会

実行委員長

双葉町議会議員 谷津田 光 治

本日ここに、第4回原子力発電所立地議会サミットを開催するに当たり、実行委員を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は原子力発電所立地市町村議会議員の皆様を初め、立地計画がなされております各地域の議員の皆様や電気事業者の皆様、さらには全国各方面で原子力にかかわっておられる皆様方、多数の御出席をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

また、御来賓といたしまして東京都市区議会議員会長でいらっしゃいます東久留米市議会議員長の甲斐様、全国原子力発電所所在市町村協議会会長である敦賀市長の河瀬様、関東商工会議所からは連合会会長であります山口様の御臨席を賜り、このように盛大に原子力サミットが開催できますことを心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、皆様方も御承知のように、この原子力発電所立地議会サミットは、原子力発電所やその関連施設が立地されている市町村の議員同士が一堂に会して、地域住民の声を代表しながら、賛成、反対の立場を超え、地域振興や原子力に対する安全の確保はもとより、住民の不安解消に向けた取り組みなどに照準を当て、原子力を取り巻く諸問題について公平な議論と意見交換を行うことを目的に開催するものであります。

昨年8月末、東京電力によるトラブル隠しを機に、国においても原子力発電所の維持基準が10月1日から施行され、全国の原子力発電施設に対し、新たな検査制度が導入されました。

しかしながら、依然として地域住民にとりましては、国や電気事業者に対する不信感が払拭していない状況にあると思われますので、今後、情報公開の徹底と電気事業者及び協力企業を含めた安全・安心対策を着実に、かつ継続的に実行し、失われた信頼を一日も早く回復してほしいものと、このように思うのであります。

今回のサミットは「原子力発電・その安全と安心を求めて」をメイン・テーマに、原子力行政と地域共生に向け、どう取り組んでいくべきかを原子力のさまざまなテーマについて意見交換をし、議論を交わす予定となっております。

本日は財団法人・原子力安全研究協会理事長であります佐藤一男先生を講師にお招きし、我が国における原子力発電の役割と課題についてと題した基調講演をお願いしております。

また、開催要領にも記載されておりますが、前回と同様に5つのテーマに分けた分科会、第1分科会においては、地域振興と原子力関連財源について、第2分科会は安全性の確保と情報の公開について、第3分科会が核燃料サイクルと核関連廃棄物について、第4分科会が原子力発電所に対する住民合意と地域共生について、最後に第5分科会が、これからのエネルギー政策についてを設定させていただきました。

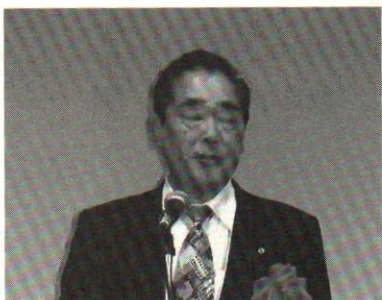
さらに分科会報告に対する意見交換をする場として全体会も用意させていただきました。参加された皆様におかれましては、それぞれの立場から十分なる論議がなされるものと期待しております。

終わりになりますが、実行委員会といたしましても、精いっぱい対応をしたつもりではございますが、不行き届きの点があるかと思えます。どうかお許しをいただきたいと存じます。

2日間にわたります今回のサミットが実り多い大会となりますよう、お願いを申し上げます。私のあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



来賓あいさつ



東京都市区議会議長会 会長
東久留米市議会議長 甲斐次義

皆様こんにちは。今ご紹介いただきましたように、私は東京都下26市、都内23区特別の議長会で構成されております東京都市区議会議長会の会長を仰せつかっております、東久留米市議会議長の甲斐次義でございます。代表いたしまして御礼とお願いのごあいさつをさせていただきます。

第4回の全国原子力発電所立地議会サミットが、電力の大消費地であります東京都内で開催されますことは、消費地の議員を初め、消費者の皆様並びに電気事業者の皆様との交流が、ますます図られるものと御期待を申し上げます。原子力発電所にかかわる諸問題としましては、プルサーマル等、核燃料サイクルの問題や東京電力及び浜岡原発の事件など、いろいろと耳にするところでございますが、セキュリティーの安全と地球温暖化防止の対策の面から住民の原子力に対する不安感を取り除き、信頼感を得るために、関連機関や関連者の方々において、それらの諸問題を真摯に受けとめ、解決に向けて努力いただいておりますことに深く敬意を表します。

原子力発電所は国内に有力なエネルギー資源を持っていない我が国にとりまして、経済活動や国民生活の安定を支える上で、必要不可欠なエネルギー資源だと理解しております。また、国のエネルギー政策の一環をなす原子力政策は地域住民の理解と協力なくしては成り立ちません。原子力発電所が立地する13の道県における御苦勞は並大抵のものではないと御推察申し上げます。東京都民1,100万人の消費電力を供給していただいておりますことに感謝申し上げる次第です。

最後にこのサミットを通じまして、議員の皆様方お互いの意見を交換し、そして議論を交わされて、所期の目的が達成され、大きな成果が得られますことを御期待いたしますとともに、皆様の御健勝と、御活躍を心からお喜び申し上げ、また各自治体の御発展をお祈りいたしまして、お祝い並びに御礼の言葉にかえさせていただきます。本日はまことにおめでとうございます。ありがとうございます。



全国原子力発電所所在市町村協議会 会長

敦賀市長 河瀬 一 治

皆さんこんにちは。全国の原子力発電所が所在いたしております市町村の首長、また議会の議長の方で構成をいたしております全国原子力発電所所在市町村協議会、略しまして全原協と申し上げておりますけれど、その会長を仰せつかっております福井県は敦賀市の市長の河瀬一治と申します。

本日は第4回の原子力立地地域の議員の皆さん方で構成をいただいております組織のサミットということでございまして、多くの議員の皆さん方が各地からお越しを賜り、この東京の地で大変重要なサミットを開催されるということでありまして、まずもって心からお祝いを申し上げる次第でございます。また、先生方には原子力を立地しておる地域がゆえの諸問題がたくさんあるというふうに存じますけど、その諸問題に対しましても真摯にお取り組みを賜り、私ども理事者に対しまして適切な御助言をいただき、立地地域の発展、また原子力全体の政策のあり方についても御議論を賜り、大変重要な、また大きな成果を上げていただいておりますことに対しましても心から感謝を申し上げる次第でございます。

私ども市長になりましてから9年目を迎えて、会長も9年間仰せつかっているわけですが、議会ごとに、特に敦賀市は定員28の議員が、皆さん方いらっしゃいますけど、一般質問に前回には23名の方が立たれまして、そのうち半数が原子力問題としまして、いろいろと御質問等をいただいております。それだけ多くの問題点があるわけでございます。先ほどのような中にもございましたけれども、東電の不正問題等々、いろいろなことが過去ございました。この全原協も35年を迎えておるわけでございますけれども、歴代の皆さん方の諸問題に対し、また税制のあり方、また補助金の使い勝手のこと、いろいろなことを国に対しまして、私どもの立場でお願い申し上げ、少しずつ実現をいただいております。

しかし、きょうは議員の皆さん方ばかりでございまして、その議会を越え、すなわち私どもの行政のあり方として、1つの方向性でございます。私ども立地地域でよく言われますのは、住民投票をやったらどうだ、これをするには、あれをするには、いや住民投票をするかと、よく言われておりますけど、私のところでも、それがよく出ております。しかし民意は議会の先生方が担当されまして、住民の代表として、その声を議会の中で大きく発していただき、それが行政を動かしていく、それを私ども理事者は十分に尊重しながら運営していく、そのことが当たり前でございますので、特に原子力問題等々はひょっともしますと、その思いに流されることが多ございます。イメージだけに流される。原子力発電所、何かあったら危ない、怖い、そんなものあったら大変だという、その思いは確かに住民の皆さん方にございますけど、先生方のように議会の中で、またこのようなサミットの中で十分に原子力というものをしっかりと勉強していただき、ま

た知っていただき、理解をいただいている方と、新聞報道、テレビだけで、それを見て怖いからという片方の判断を同じレベルではかっては世の中えらいことになると、私はなるというふうに思っています。私はそういうことは決してしないという立場でこれからも行政を進めていきたいと思っているものでございますけれども、そういう意味におきまして、先生方にはぜひこういうことを利用していただき、十分に御研さん、つまりまたそれぞれの立地の中で特に活かしていただければ幸いです。

特に第3回のサミットにおきましては、使用済み燃料につきましての課税の問題がございました。そのことを軸に御提言をいただき、今、国の方でも大きく前向きに私は動いていると確信をいたしておりますし、川内、また柏崎におきます使用済み燃料の課税につきましては、必ず実現ができるというふうに思っております。これはやはり先生方の大きな力でございます。私ども全原協といたしましても、今後とも先生方の御意見を十分に拝聴し、またこの協議会の皆様方の御意見を十分に伺いながら、国に対しまして、より一層安全に安心して住民の方々が暮らせる地域づくりと、共生のできる、共存、共栄できる、その地域づくりを目指していきたいと思っておりますので、皆様方のさらなるお力を心からお願いを申し上げる次第でございます。

サミットに当たりまして、全原協を代表し、一言ごあいさつを申し上げ、お祝いの言葉にかえさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

来賓あいさつ



関東商工会議所連合会 会長

代理 関東商工会議所連合会 代表幹事

桜木 敬

山口で御紹介ちょうだいいたしました、実は所用で山口欠席でございます。関東商工会議所連合会代表幹事の桜木でございます。おおむねこういうことを申し上げると承っておりますので、それをもとに簡単にごあいさつをさせていただきたいと思っております。

まずもって、このサミットがこの東京の地で、しかも370名という大勢の方々が集まって開催したことに對して、まずもってお祝いの言葉を申し上げたいと思っております。

ことしの夏の首都圏の電力需給問題では、記録的な冷夏であったということが幸いいたしました、原発発電所立地地域の関係者の皆様の原発運転再開に向けた多大な御尽力によりまして危機を回避できましたことは、私ども経済界としても大変強く感謝しているわけでございます。改めてここで御礼を申し上げたいと思っております。

この関東商工会議所連合会というのは、傘下に106の商工会議所を抱えておりまして、そのそれぞれが、この夏場の非常事態を憂慮いたしまして、関東圏の事業者や住民に対し、立地地域の人々が安全に対する不安を抱きつつも、国策に協力しての実情を認識しながら、感謝の気持ちを持って取り組みが進むなど、省エネルギーに努めてきたことを聞いてまいったわけでございます。我が国、原子力発電は日本の発電量の約3分の1を担い、電力の安定供給に大きく貢献し、国策としてのエネルギー政策や地球温暖化防止対策の柱として重要な役割を果たしておるわけでございます。言うまでもなく、資源のない我が国にとって、エネルギー確保の問題は大変重要な課題でもございます。今後のエネルギー計画でも原子力発電は安定的な連続供給を行うことにより、経済成長を支えるとともに地球環境問題を解決してくれるなど、基幹電源として欠くことができないものと考えておるわけでございます。

我が国は世界唯一の被爆経験国であるというゆえに、その際、安全第一を大前提に、また資源小国ゆえに、希望や期待を抱いて、原子力開発事業に取り組んでまいりたいと考えておるわけでございます。しかし、その発展の裏では技術、利用に伴う技術の問題、地球環境問題など、マイナス面もあると、そういうことになっているのが実態ではございます。21世紀はこのようなマイナス面の解消にも積極的に取り組んでいく必要があるのではないかと存じる次第でございます。

従来から全国的に散見されます原子力発電関連施設における事故や不祥事によって、失われた信頼回復に向けた関係者の努力も、まだ著についたばかりでございます。さらに今後、プルサーマルの導入を図るに当たっては、より一層の国民の理解が必要となります。改めて国や電力会社を初め、関係各位にいま一度、初心にかえって、より強い社会的倫理観と責任感を認識していただきたいと思っておるわけでございます。原子力消費地域における我々産業人も原子力発電を仲立ちとした原子力立地地域との相互理解の促進と双方の反映のために、お手伝いできることを真

剣に考え、さらなるパートナーシップを強固にしていきたいと思います。

最後に地域のますますの御発展と本日御出席の皆様のみますますの御健勝を御祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

たまのちごをけはるはぶみちさのいひのまごは二箇處がでいて一十のちごをささ、たまのち
たまのちの心算算の御製稿のたまをまの御書の出出日本と御製稿のたまをまの御書と御製
たまのちごをけはるはぶみちさのいひのまごは二箇處がでいて一十のちごをささ、たまのち